

取組事例 産業を活かしたまちづくり・農業振興ハウス運営事業

(寿都町)

寿都町では、再生可能エネルギーを活用した通年型農業振興ハウスによる農業振興、収穫された「風のバジル」を活用した新商品開発などの取組を進めている。

関連数値目標・KPI

	実績 (R3)	目標値 (R6)	進捗率 (%)
雇用者の人数	3人	年4人	75%

取組の推進体制

町が主体となり、農業振興ハウスで生産する「風のバジル」を活用し、域内事業者、外部専門家、メーカー等との連携により、新商品開発・ブランド化の他、市場調査等を行い販路拡大など取り組んでいる。

「風のバジル」を活用した新たな新商品開発

指標	R2	R3
バジル年間生産量 (t)	1.2	1.8
商品開発数 (品)	2	2

「風のバジル」は通年を通して収穫が可能であり、安定した生産を基に積極的な新商品開発・ブランド化を進め、新たな特産品として定着しつつある。

取組事例 新たな農業による取組み

通年型農業の展開

- 主な取組
 - ・再生可能エネルギーを活用した農業振興ハウスにおいて、通年を通して収穫が可能であるバジルを栽培。
- 主な成果
 - ・安定した収穫量が確保できることから、新たな雇用の創出や、町の農業振興発展に寄与するものとなっている。



新商品開発・ブランド化の取組み

- 主な取組
 - ・農業振興ハウスで収穫される「風のバジル」を活用し新たな町の特産品として商品開発を行う。
 - ・市場調査、プロモーション等により販路拡大を図る。
- 主な成果
 - ・これまで4品を開発
 - ・町の特産品として「風のバジル」が定着しつつあり、販売額も拡大傾向にある。

